

除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788 系統の申請概要

1. 申請品種（除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788 系統）の概要

遺伝子組換えダイズ「除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788 系統」（以下、「MON89788 系統」という）は、ダイズに *Agrobacterium* sp. CP4 株由来の *cp4 epsps* 遺伝子を一部改変した改変 *cp4 epsps* 遺伝子を導入したダイズである。

改変 *cp4 epsps* 遺伝子を導入することにより、改変 CP4 EPSPS タンパク質が発現し、除草剤グリホサートに耐性をもつ。

なお、当該品種には選択マーカー遺伝子は含まれていないことが確認されている。

2. MON89788 系統の利用目的および利用方法

MON89788 系統が従来のダイズと異なる点は、改変 CP4 EPSPS タンパク質の発現により除草剤グリホサートに耐性を持つことであり、その飼料としての利用目的や利用方法に関して、従来のダイズとの相違はない。

3. 諸外国における申請等

2006 年 5 月に米国食品医薬品局（FDA）へ飼料としての安全性審査の申請を行い、2007 年 1 月に認可を得ている。

2006 年 6 月にカナダ農務省（CFIA）へ飼料としての安全性審査の申請を行った。

2006 年 10 月にオーストラリア・ニュージーランド食品基準局（FSANZ）へ飼料としての安全性審査の申請を行った。

なお、申請資料は、「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」（平成 16 年 5 月 6 日 食品安全委員会決定）に沿って作成されている。